



なんきょく ほっきょく
南極・北極
あいうえお!

2015年6月号

今日は、**か**行だよ。



[か] 海洋大循環

海には、速く流れる表面の海流とは別に、3000m～4000mより深い層の深層海流があります。

深層海流は地球規模で循環しています。北極と南極付近の海域で作られた水が冷やされ重くなって沈み込み、巨大な水の塊となってゆっくりと海底の地形に沿って流れてゆきます。南極付近で沈み込んだ海水が回りめぐってまた南極に戻るまで約1500～2000年かかるといわれています。この流れが地球を冷やしたり、南極で作られた栄養分の濃い海水を運んで地球の豊かな海を作りだしています。



[か] 化石



南極横断山脈の約3億年前～1億5000万年前の地層からシダ植物の仲間のグロソプテリスの化石が発見されています。海を渡って移動しない生物の化石が発見されたことで、ゴンドワナ大陸の存在を裏付ける証拠となっています。科学館にはこの化石が展示してあります。

[き] 極夜

3月に夏が終わると南極は冬へと向かい、6月の南半球の冬至（日本での夏至）を中心とした2ヶ月は太陽が全く昇らない「極夜」になります。地球が傾いた状態で太陽の周りを回っているためにおきる現象で、南極圏と北極圏だけにみられます。

[<] GRENE

急変する北極の今をとらえ地球の未来を知るために、大学や研究機関が連携し、2011年度からGRENE(グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス)北極気候変動研究事業がスタートしました。地球温暖化の影響を受け、北極海の海水面積が急激に減少しています。大気や海洋、雪氷、陸域生態系にも色々な変化が起きています。未来の北極はどうなってしまうのでしょうか？

